

変化に先んじた商品展開に注力 和信ペイント「歳月かけて育てる」

和信ペイントは、住宅建材の変化にいち早く対応した製品開発にDIY用塗料の成長性を見出している。

現在、そのけん引役に位置づけるのが「フローリングコート」と「パワープロテクト」の2製品。いずれもシート材、人工木と塗装基材としては新ジャンルとなる素材だが、将来的な普及を見据え、提案活動に注力している。

水性床用ニス「フローリングコート」は、無垢材を含む木質系フローリングの他、難密着素材のシートフローリングに密着するのが最大の特長。消費者にとって難しいフローリング素材の見極めに対し「木質系、シート系双方に適応性を持たせたことで店頭での購買ミスを防ぐことができる」(瀬川義浩社長)と説明。その機能性と利便

性が評価され、今年8月に開催された「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2023」の新商品コンテストで金賞を受賞した。

「パワープロテクト」は、デッキに多用されている人工木の白ボケ、色あせを抑制する人工木用水性塗料。防カビ剤、紫外線吸収剤を配合し、耐候性の付与と色あせからの美観回復に寄与。着色による塗り替えの他、クリヤーを揃えることで新設時の保護用として提案を進めている。

ニス製品を主力としてきた同社にとっては、新境地の商品となるが、住宅建材の変化にいち早く対応した商品を投入することで市場での存在感を高めるのが狙い。「人工木を対象にしたパワープロテクトは普及を始めたばかり



DIYショー2023に出展

の建材で、本格的な塗り替えニーズが顕在化するまでには時間がかかると思うが、生活者にとって塗料でメンテナンスができる安心感は大きいと考えている」と瀬川社長。「DIY用塗料は長い年月をかけて育てていく必要がある」と先んじた商品展開から商機につなげていく考えだ。

一方、海外展開も積極化していく方針。「韓国では日本以上に人工木が普及している」と現地代理店からの引き合いを増やしており、市場拡大に可能性を広げている。